

平成 29 年度第 4 回理事会議事録

日時：平成 29 年 8 月 22 日（火）19：00～20：45

場所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、北山、名取、
古屋、大西、三科、井村
(部長) 小林泰、入倉

書記：笹本

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 0 件 施設数 126

会員数 883 名 (施設 826 名 自宅 57 名)

I. 審議事項

1. 関ブロ時に行われる、女性理学療法士の会・情報交換会への出席について：小林会長、事務管理局有泉局長

元埼玉県士会会長の清宮先生が中心の女性理学療法士の会がある。女性ならではの悩み等の意交換をして、士会を通して各職場に連絡をしている。

高村裕子先生にお願いをしている。その他に何名かにもお願いをして、女性理学療法士の会へ参加、さらに山梨版の女性の会の設立の検討も含めてお願いをしたい。

→高村裕子先生に依頼をする。組織づくりも検討していく。

2. ジュニアテニス大会への対応について(審議)、大会等参加報告(報告)：社会局スポーツ PT 部 古屋局長

日当については、大会本部から費用が出るため、その金額を参加したスポーツ部員へ日当として渡す。山梨から他県へ協力した実績はない。海外の選手が参加する大きな大会に関わることが少ないので、オリンピックに向けて、経験を積むとトレーナーとして入っていきやすい。

依頼をする文書を出すことは問題ない。逆に依頼をされたら、協力をしていく形になると思う。対士会からの要望に関しては、なるべく応えていく方向でよい。前例があれば参考にしたい。

→関ブロスポーツ関連事業運営委員会の会議で、関ブロ内での協力の有無や交通費等の取り決めについて、確認・検討を提案する。担当は東京都士会の森嶋先生。

3. 協会の士会組織強化委員会の訪問、意見交換の日程について：事務管理局 有泉局長

改めて催促の連絡があった。協会の中に各士会を強化していく委員会があり、協会が士会活動の現状を

把握して、アシストできるところはアシストしたいということ。山梨県士会としては、事務所が変わったこと、事務員を一人雇ったことと今後も事務員を増員する予定であること、事務局機能や委託事業の割り振りなど三士会合同で行っていること等、課題や悩みを共通認識にしていくことになる。

・前回の延期は、5月に総会や拡大理事会・交流会があり、保留となっていた。

⇒士会組織強化委員会との意見交換の日程は、9月26日の理事会前の18：30から行う。理事会では、審議事項のみとして、報告事項は書面上の対応とする。

4. 千葉県士会からの問い合わせメールについて：事務管理局 有泉局長

千葉県士会から、地域住民を中心としたイベント開催時に、参加した一般住民の方が体調不良を起こした場合の対応について問い合わせがあった。イベントが委託先の場合は、委託先の対応に準ずるが、県士会独自のイベントの場合はどうするか。

・他の県士会もマニュアルは作成していない。顧問弁護士は、東京都士会のみ契約している。

・ねんりんピックは、検査動作を2つ行っていたが、慌ただしく危険と判断し、今年から1つに減らした。保険は、確認していない。

・士会として団体保険には加入している。保険の対象となる弁護士料は訴訟になってからとなる。保険の補償の主は会員。参加者も補償対象になっているが金額は多くはない。

・AEDは、会場に設置してあることが多い。士会で準備はしていない。

・マニュアルの内容は、その場での対応のことか、その後の対応のこととするのか。

⇒マニュアルについては、行政のイベント時のマニュアルがあるかもしれないので、市役所に確認をする(古屋局長)。顧問弁護士については、協会の弁護士を利用できないか。費用など事務局長会議で確認をする(有泉局長)

5. 「がんリハ」について及び「ねんりんピックの体操」について：福祉厚生局 三科局長

山梨県健康増進課から終末期医療の関わりについて各士会と理解を深めたい、また将来的に終末期医療に関わる人材を共同で育成していきたいが、どこが窓口か問い合わせがあった。今後、県の方から終末期に対する打診があると思われる。併せて、山梨ねんりんピックで「いきいき百歳体操」のリーダー役を出せないか打診があった。

・県からの要望によっては、がんリハを実施している施設(がんリハの研修のHPに各県の届けている施設が公表されている)に依頼をする。

・今回の確認は、PT ががんに対してどんな関りをするのか、理学療法士は終末期に何かするのかの確認なのか

→主にはがんについての問いであった。がんリハを行えば、必然的に終末期も関わってくる。

⇒体操のリーダー役については、久保田先生、中村先生に依頼をする予定。

6. JDDnet 発達障害支援人材育成等研究事業について：小林会長

日本発達障害ネットワークの山梨支部で全国大会開催する。OT 協会と ST 協会は JDDnet に加入しているが、PT 協会は入っていない。山本 OT 士会長から各 1 名ずつ実行委員を出して、POS 専門職団体のアピールや啓発も含めて三士会で取り組んでみてはどうかと提案があった。特別支援教育委員会のメンバーから選出。小林会長から有泉局長へ依頼を行った。

⇒三士会合同協議会で受けて、各 PTOTST 士会 1 名ずつ選出の対応とする。特別支援教育委員の高村先生と有泉局長が対応する。

7. 平成 29 年度の調査研究部事業について：企画局 井村局長

ケアマネの団体に対して事前に協力が得られるか確認することは可能か

⇒確認は可能。ただ、アンケート内容など具体的な物を提示しながら相談に伺った方がよい。

・確認で三士会ではなく PT 士会で行うで良いか

→検討をしていなかった。

・上手く理解して貰わないと回収率が低くなる可能性がある。

⇒次回の時に内容のたたき台を提示する。

8. 平成 29 年度公開講座について：企画局 井村局長

システムブレインに依頼して講師をリストアップ。講師は今まで有名人できていたが、今回は内容で選定。また費用も抑えられるので広報へ費用をかけられる。講師として久田直子さんに依頼をしたい。

⇒講師は、久田さんとする。

・講演のみで人は呼べるのか。

→健康チェックなどと一緒にやるのはどうか。今まで後援依頼をしていないが、健康づくり、介護予防として市町村、老人クラブ、NHK などの関連団体などに後援依頼、同時に広報の協力も依頼をしたらどうか。

なお、市民公開講座は履修のポイントにはならない。

・日時について、1～2 月はインフルエンザや雪の影響が考えられる。

⇒2 月 25 日、3 月 4 日で検討していく。

9. 健康科学大学の卒後教育の講習会について：高村副会長

健康科学大学の卒後教育の一環として 12 月 10 日に内山靖先生を招いて「世界の理学療法の動向」について講演を行う。大学から県士会と共催できないか、(費用については、大学が負担)。また、12 月 10 日に大学数名と県士会理事の方々と食事会が行いたいと大学から話があった。考えておいて欲しいこと、また 12 月 10 日の予定をあけて欲しい。

⇒将来的には県内 PTOTST も含めて底上げをしたいと考えて行っているため、県士会も協力をしていく。

II. 報告事項

1. 各種委員会報告

・地域支援事業推進委員会

平成 29 年度第 1 回地域包括ケア推進協議会介護予防リハビリテーション推進部会について（三科局長）

行政の方々に PTOTST バンクの活用をして欲しいこと、PTOTST が地域に出る準備を行っているが、所属先の許可が出ないと出られないので、病院協会の天野先生に御協力の旨を伝えた。

地域包括ケアシステム推進研究会について：磯野副会長、有泉局長

塩川病院の笠井先生が参加する。

・訪問理学療法委員会：小林会長

第 8 回訪問リハビリテーション実務者研修会について

資料の通り、研修会を実施する。

・災害対策委員会：三井委員長

運営委員会の報告について

資料の通り報告

HUG 研修会報告について

三士会共同行った研修会で、災害時に協力できるかアンケートを行った。協賛に賛同した方のみを対象とした研修会を実施した。

・特別支援教育委員会：有泉事務管理局长

動きがあり次第、報告をする。

・山梨地域リハ・ケア委員会：磯野副会長

11 月の研修に向けて研修内容を検討中。当日の担当者レベルで話し合いをして詰めていく方向。パネリストとして会長が出席する。

- ・選挙管理委員会：有泉局長
協会の選挙管理委員に宮下委員長を選出。

2. 社会局 委託事業部：古屋局長

いきいきやまなしねんりんピックへの出展について、2つの検査をするのはリスクが高いため、椅子からの立ち上がりの検査のみで対応をする。

3. 生涯学習局 新人教育研修部：北山局長) 第1回新人教育プログラム研修会について、資料の通り報告。

4. 学術局 学術研修部：名取局長

第1回学術研修会事業報告について、以前から当日のキャンセルが約10～20名いる(参加希望者の約10～15%)。実技の場合は、アドバイザーをつけてグループ分けをするため、当日キャンセルが多いと人数調整が大変。

- ⇒事前振込はシステム構築が難しいが、協会のようなシステムがあると良いが、協会を通すと士会事務局対応も必要となり、負担が増えてしまう。
- ・一方で参加費が安く、キャンセルもできることが、参加しやすいのも一つのメリットではある。
- ・キャンセルの多い会員名簿等はあえて作成していない。

⇒メール等で注意喚起を行っていく。

学術局 学術集會部

第2回山梨県リハビリテーション専門合学術大会の進捗状況について、資料の通り報告。

5. 企画局 企画研修部：井村局長

平成29年度企画研修部研修会について、第1回のテーマが、学生・新人の指導方法と患者指導では、内容が広いので絞った方が良いのではないかと。

- 今まで実習指導中心の流れが主だった。内容については、変更も含め再検討する。

6. 事務管理局：有泉局長

- ①企業(ダイハツ)との共同事業について
ダイハツで全国的に健康に関するイベントを実施。今回山梨の販売店2箇所で開催する予定で、県士会へ協力の依頼があった。士会として協力していく方向。詳細は、次回の理事会で説明をする。
- ②9月3日(日)、協会全国事務局長会議について有泉局長が出席する。
- ③甲信越在宅医療推進フォーラム対応スタッフについて
運営スタッフとして、巨摩共立病院の笠井先生と渡辺先生、石和温泉病院の小林先生と森本先生の4名

が関わる。当日の県士会のブースについては、古屋局長と大西協調2名出席予定で調整中。

- ④協会からの依頼：会費納入期限変更、石川全研PRについて、周知をして欲しい。

⑤PTOTSTバンクについて

今まで県が行っていたが、今後は三士会の協議会が行っていくことになったと三士会事務局から連絡があった。士会事務局から各施設・個人あてに文書を発送予定。

III. その他

- ・中間監査があるので、次回の理事会の際に、9月分までの上半期の資料提出をお願いします。(入倉部長)
- ・中間監査は、10月24日の理事会時に行う予定。事業報告の資料は後日送る。(有泉局長)
- ・山梨県高次脳機能障害支援センターの研修会が開催される(磯野副会長)
- ・シルバーリハビリの報告会について、原田先生に9月27日実施が有力となっている。場所・時間など詳細については後日報告する。なお、山梨県健康長寿推進課の秋山先生にも参加依頼した。

*財務部から

公認会計士の費用は、今年度5万円となっている。財務の大半の業務を依頼すると30万円前後で行ってくれると回答があったが、詳細は未定。次回の理事会で報告し検討予定。

IV. 次回の理事会日程について

日時 平成29年9月26日(火) 19:00～(予定)
場所 県士会事務所
連絡 なし

V. 会長より

9月は様々なイベントが行われると思うので、引き続き各局が奮闘していただきたい。